

発行所 全日本建設交通一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail: kenkourou@dumptcg.org

CTGの建交労とちぎ

米国トランプ次期大統領は選挙中「日本政府に在日米軍の費用負担を求める。応じなければ日本から撤退」と公言。どうぞ速やかに撤退してください。主権国家として対等にお付き合いしましょう。



今年で組合を退職する今成道子さんに花束が贈呈されました



活動報告、運動方針を聞く参加した組合員

ダンプ支部大会

「働き方改革」を担い手の育つ業界にしよう

十一月六日、佐野市「あくとプラザ」で第三十六回ダンプ支部定期大会を組合員一〇三人の参加で開催しました。

工藤委員長はいさつのなかで、高齢化が進むダンプ業界の現状に触れ、労働条件の改善なくして砕石業界、建設業界の未来はないと訴えました。また、組合員拡大の問題に触れ、「今期もみなさんの協力で前進することができた。『数こそ力』今後も幅広く様々な問題に団結して取り組みたい」強調しました。来賓の栃木県労連阿波長次議長から激励のあいさつをいただきました。また、松原運輸に労災使用者責任を求め闘っている菅谷徹也さんが支援を訴えました。

明、石井書記次長は運動方針のなかで「過積載をしなければ生活できない業界に担い手は育たない。過積載問題は業界の一部で自主規制が実施されているが、まったく足並みがそろっていない。労働者が声を上げなければ単価改善は実現しない」と訴えました。また、病気を治療により経済的に困窮する組合員の実態を踏まえ、今期から医療保険を中心とした生命保険を取り扱うことも報告されました。

マイナンバー、年金など生活に密着した学習会

特別報告として今年から取扱いをはじめた医療保険を「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」の渡部良一さんが実例を交えてわかりやすく説明しました。持病がある人でも加



年金受給資格短縮(25年から10年)問題。組合員のなかにも対象者が多数いることが明らかになりました。

最後に山内書記長が、マイナンバー記載について説明しました。今国会で成立が見込まれている年金制度の変更と来春確定申告時の

参加した組合員の声



学習会は身近な問題をわかりやすく

登立光一さん 「毎年参加しています。現在病氣療養中だけどみんなの顔を見たくて参加しました。安否確認の機会です。来年は元気になって参加したい」
鈴木健一さん 「参加してあらためて組合の幅広い取り組みを知りました。今年も労災事故で長期休業することになったけど、労災保険に入っていたので安心して治療に専念することができました。もっと知らせる必要があった」
荒井進さん 「機関紙を読まなから組合の活動がわかって参加して、とてもよかった。今年も切実です。もっと具体的に説明してほしい」
山本敏彦さん 「今年は学習する内容が多くて詰め込みすぎ。もっとテーマを絞って掘り下げて説明してほしい。時間も多少超過してもいい」